

9月中旬 バロー23期連続増収 5.6%増ドラッグストアけん引

バローホールディングス（HD）が7日発表した2017年9月中旬連結決算は、売上高に相当する営業収益が前年同期比5・6%増の2705億1100万円となり、過去最高だった。増収は23期連続。既存店が好調で出店攻勢を続けるドラッグストア（DS）事業がけん引した。一方、主力のスーパーマーケット（SM）事業の収益悪化が響き、利益は4期ぶりに減益となった。

SM事業は、既存店与したほか、総菜の製造・販売が伸び、営業収益は3・8%増と増収。DS事業は、食品や調剤部門が順調に推移し、同売上高が4・3%増となり、営業収

与したほか、総菜の製造・販売が伸び、営業収益は10・2%増。ホームセンター（HC）事業も堅調だった。9月末までの出店は、DSが13と積極出店するなど計34となった。退店は1、グループの総店舗数は778となった。損益面では、DSやHC事業で利益改善が進んだものの、SM事業

県内企業2017年9月中間決算				
	営業収益	経常損益	純損益	配当
バローHD				
(連) 270,511	(5.6)	7,455 (▲11.3)	4,683 (▲17.3)	21.00
(予) 550,000		18,700	11,500	45.00
【注】単位は百万円、%、配当は円。(連)は連結、(予)は2018年3月期予想。かっこ内は前年同期比増減率。▲はマイナス。配当の下段は年間配当予想				

業で改装を積極的に進めた結果、費用がかさんだことや、既存店が伸び悩み減益となった。18年3月期は、下期に27店舗を新設し積極出店を継続するほか、改装効果も見込み、増収増益を予想する。

増配。年間配当額は5円増配の45円を予定。18年3月期は、下期に27店舗を新設し積極出店を継続するほか、改装効果も見込み、増収増益を予想する。